

# パティショ

入場無料 1/23水祝 広島大学サタケメモリアルホール (東広島キャンパス) お問い合わせ先〉メール info@3mt.hiroshima-u.ac.jp TEL 080-2945-9233

オープニング プログラム(予定)

3分間プレゼンテーション [日本語部門]

発表者を交えたパネルトーク【日本語部門】

15:00 -

3分間プレゼンテーション [英語部門]

発表者を交えたパネルトーク【英語部門】

16:40 クロージング

大会公式サイト〉https://www.3mt.hiroshima-u.ac.jp/



主催〉「未来を拓く地方協奏プラットフォーム(HIRAKU)」(代表機関:広島大学)

次世代研究者挑戦的研究プログラム「広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラム」









ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特性対応型)「女性科学技術フェローシップ制度の創設による次世代の積極的育成」

科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業「広島大学大学院リサーチフェローシップ」















と き●2022年11月23日(水・祝) 13:00~17:00

**分一号个已义人** 分象设定定记句伸高生大学生5次

ところ●広島大学サタケメモリアルホール (東広島キャンパス)



[総合司会]バーゲル・ルミ (フリーアナウンサー/元TSSアナウンサー)

3分間 プレゼンテーション

博士課程学生が、3分間の限られた時間

内に、たった1枚のスライドのみを使って

自身の研究のピジョンと魅力を分かり やすく語ります。全国から動画審査を勝

ち抜いたファイナリストたちの発表に心

動かされたら、是非一票を投じてくださ

い。事前申込していただければ、大会中

に投票していただくことができます。発

表者情報、事前申込方法等は大会公式

発表者を交えたパネルトーク

「未来に向けて

~まぜて、こえて、つくりだそう~

科学コミュニケーションに精通した専門家

をモデレーターに迎え、各部門のファイナ

リストたちがJSTサイエンスアゴラ2022

のテーマ「まぜて、こえて、つくりだそう」 を軸に、未来に向けて社会とどう関わり、

どう貢献できるか、議論を交わします。

サイトをご参照ください。

13:00

#### オープニング

- ◎開会挨拶:広島大学 学長 越智 光夫
- ◎来賓挨拶:豪州クイーンズランド大学副総長 Alastair McEWAN

13:05

#### 博士課程学生による 3分間プレゼンテーション

日本語部門



14:00

発表者を交えたパネルトーク

日本語部門

14:45

プログラム

[モデレーター]フリーランス科学コミュニケーター 本田 隆行

休憩

15:00

博士課程学生による 3分間プレゼンテーション

英語部門



発表者を交えたパネルトーク

英語部門

[モデレーター]京都大学 総務部 広報課 国際広報室 室長 今羽右左 デイヴィッド 甫

16:40

15:55

#### クロージング

○表彰式

◎閉会挨拶:広島大学 理事·副学長 宮谷 真人

17:00

※ブログラムは、諸事情により変更になる場合がございます。最新情報については大会公式サイト(https://www.3mt.hiroshima-u.ac.jp/)をご確認ください。

## JST サイエンスアゴラ2022 連携企

https://www.jst.go.jp/sis/scienceagora/

### 3分間コンペティション?



オーストラリアの クイーンズランド大学で 始まり、現在は少なくとも 85か国900校以上の 大学で実施されています。

https://threeminutethesis.ug.edu.au/watch-3mt





○奨学金30万円、副賞

日本語部門 1名 1名 英語部門

▶優秀賞

○奨学金15万円、副賞

○奨学金8万円、副賞

日本語部門 1名 英語部門 1名

オーディエンス賞

1名 日本語部門

1名 英語部門

大会公式サイト https://www.3mt.hiroshima-u.ac.ip/





「未来を拓く地方協奏ブラットフォーム(HIRAKU)」は、広島大学、山口大学、徳島大学及び連携機関が一体となって、次世代を担う優秀な若手研究者が活躍 の場を獲得していくための継続的な仕組みを作ることを目的に様々な取り組みを実施してきました。若手研究者が、人社系・理工系のジャンルを超えて異なる 領域にも果敢に挑戦することで、社会を変革する意識と情熱を持った人材となることをめざしています。また、中国・四国地方を中心とする西日本の国公私立 大学、そして多くの企業や公的機関を連携機関とした産学官コンソーシアムを形成し、協力して次代を担う優秀な若手研究者の活躍の場を創出します。